

6月13日(金) 17:00~

青葉区北山・輪王寺

14日(土) 11:30ごろ~

宮城野区榴岡・クリネックススタジアム宮城

(Kスタ宮城) 犬鷲の森

*交流戦 楽天VS巨人戦の前時間です。

14日(土) 15:00~

宮城野区榴岡公園内

仙台市歴史民俗資料館前

むかし懐かしい猿まわしと
大道芸のユニットが
仙台にやってくる!

入場料はいただきません。
でも、投げ銭は大歓迎!!

東北地方初お目見えの顔見世旅興行!
「村崎耕平」 参上!
若き猿まわし芸人。



猿まわし・大道芸
津々浦々めぐり
村崎耕平顔見世旅興行・仙台編

出演

猿まわし(猿舞座)

村崎修二+安登夢

村崎耕平+夏水

大道芸(浅草雑芸団)

上島敏昭

『猿舞座』は、猿まわしのふるさと・周防高森(現・岩国市)を拠点に、昔ながらの放浪芸スタイルと伝統的なニホンザルの訓練法「本仕込」にこだわって地域まわりをつづける芸能グループです。

「保育園から大学まで おサルをもちこみなさい」

今西錦司

猿まわしは、日本ではもっとも古い民間芸能ですが、昭和 40 年頃にはほぼ消滅していました。俳優・小沢昭一の放浪芸調査がきっかけとなり、宮本常一ら民俗学者や今西錦司ら動物行動学者のほか、芸能研究者、歴史学者の肝いりで、昭和 57 年に猿まわしの復活が図られました。それは、伝統的な動物芸の復活であるとともに、「人間と自然の共棲の可能性を探るプロジェクト」でもあったのです。復活運動の立役者でもあった村崎修二は、この 30 年「本仕込み」と「里めぐり」という伝統的な猿まわしの芸態にこだわりながら活動してきた芸人です。そして、その芸が新しい猿まわし芸人・耕平に引き継がれます。新しい時代に、どんな猿まわし芸人が誕生するのでしょうか？ お見逃しなきよう！！

猿舞座



村崎修二（むらさき・しゅうじ）

猿まわし芸人。猿舞座主宰。1947 年山口県光市生まれ。1969 年東京・舞台芸術学院卒業。民俗学者・宮本常一らにより提唱された、ほぼ絶滅しかけていた芸能・猿まわしの復活・伝承運動の中心的な芸人の一人として約 30 年前より活動。1977 年より宮本常一に師事。1978 年から 10 年間は、京都大学霊長類研究所の共同研究員として今西錦司博士と「アイデンティティについて」協同研究。1982 年より、伝統的な「本仕込み」による猿の演芸を標榜し、山口県周東町を本拠地に「猿舞座」を主宰、現在に至る。二ホンザルの安登夢を道連れに、全国を舞台に活躍中。大道芸人・上島敏昭とともに全国各地を大道芸巡回する『猿まわし・大道芸 津々浦々めぐり』は、投げ銭興行を基本に、春のさくら巡業、夏の緑陰巡業、秋の紅葉巡業として毎年実施。1972 年来の盟友・高石ともやとのジョイントライブも毎年恒例となっている。

四代目・安登夢（あとむ）
芸猿。京都嵐山の生まれの 3 オ・オスザル。



村崎耕平（むらさき・こうへい）

猿まわし芸人。猿舞座。1977 年山口県光市生まれ。村崎修二は父。1999 年花園大学文学部史学科卒業。2000 年劇団東京乾電池 14 期研究生。東京・高円寺を中心に歌手・俳優・脚本家として活動。2005 年より山口に帰郷、猿舞座に参加、猿まわし芸人の道を志す。2006 年より二ホンザル・夏水とコンビを結成。現在、修行の日々。2008 年の里めぐり巡業は初めての東北地方遠征になる。

夏水（なつみ）
芸猿。京都嵐山生まれの 3 オ・オスザル。
ミカン・落花生・かためのバナナが好物。

浅草雑芸団



上島敏昭（かみじま・としあき）

大道芸人・編集者。浅草雑芸団代表。東京都大道芸ライセンス「ハブアーティスト」審査員。1955 年長野県生まれ。1985 年より日本の口上芸の第一人者だった故・坂野比呂志（1989 年没）の指導を受け、坂野比呂志大道芸塾（現・浅草雑芸団）を設立。1986 年より浅草木馬亭で、7 月 9.10 日の両日「ほおずき市大道芸フェスティバル」を開催。2005 年まで 20 年間連続公演。一方、1991 年より伊勢大神楽講社（国指定重要無形民俗文化財）の加藤菊太夫組の一員として諸国を巡回しながら笛・太鼓・獅子舞・曲芸などの大神楽芸を修行。また、大神楽修行と並行してはじめて、猿回しの村崎修二（猿舞座）との『猿まわし・大道芸 津々浦々めぐり』も継続中。編著『見世物小屋の文化誌』（1999 年、鶴飼正樹・北村皆雄共編、新宿書房）、林雅彦編『絵解き万華鏡』（1993 年、部分執筆、三一書房）。

お知らせ 『猿まわし・大道芸 津々浦々めぐり』今回の終点はここ！
浅草雑芸団・日本の大道芸探訪プロジェクト・第 3 弾
「猿まわし復活・考」 — 猿まわし復活事業 30 年を記念して
7 月 4 日：猿まわし復活秘話 特別ゲスト・小沢昭一
7 月 5 日：サルとヒトのメッセージソング 特別ゲスト・高石ともや
出演 猿舞座、浅草雑芸団
会場 浅草・木馬亭 申し込み・問い合わせ 03-3388-4348（かみじま）

- 問い合わせ
- ・猿舞座 0827-84-4167（村崎）
- ・仙台巡業について 080-5577-5080（すずき／みちのく藝能大学）

放浪芸ですから入場料はいただきません。
でも、投げ銭は大歓迎！！

『猿舞座』は、猿まわしのふるさと・周防高森（現・岩国市）を拠点に、昔ながらの放浪芸スタイルと伝統的な二ホンザルの訓練法「本仕込」にこだわって地域まわりをつづけるグループです。大道芸人・上島が加わる「津々浦々めぐり」も投げ銭興行が基本です。お猿さんががんばったなあ、うまく芸が出来たなあ、と感じたら、どうぞその気持ちをお捻りにして投げてくださいませ。

そこで、「お捻りってどうやってあげるの？」と言う方のために 1 ポイントアドバイス！

